

[養殖状況]

全県的に生産状況は徐々に好転しています。クロダイの食害はピークを過ぎて徐々に収束しつつあります。一方、カモの食害は依然として強い状況です。漁場によって、墨ノリによる品質低下が発生しています。

[気象・海況]

○気象 1月中旬の気温は平年より0.3℃高く、日照時間は平年並み、降水量は18%でした。向こう1か月の気温は「高い」と予報されています。

○水温 千葉北部は9℃前後、木更津地区～富津は11℃前後、富津地区は12℃前後です。内房では断続的に沖合水が波及し、一時的に19℃前後まで上昇しています(図1)。

○沖合水 黒潮の蛇行に伴い、波及しやすい状況です。

○栄養塩 1/21時点のノリ漁場周辺の窒素は205-666 $\mu\text{g/L}$ 、リン16-37 $\mu\text{g/L}$ とノリの生育上、問題ありません。しかし、沖合水の波及次第で、新富津以南の漁場では一時的に大きく減少しています。

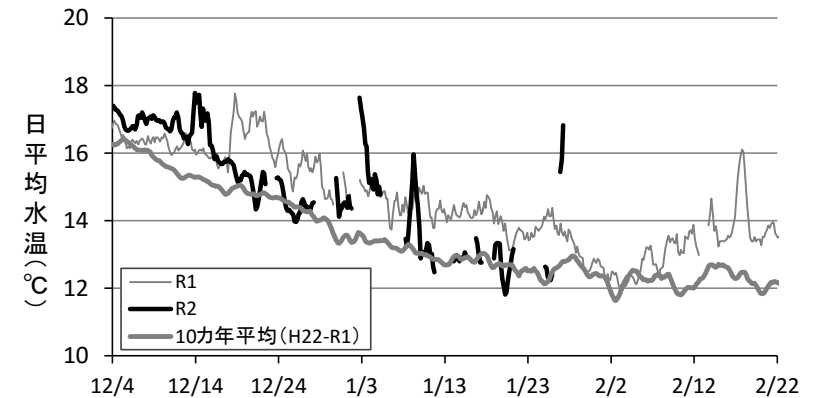


図1 新富津漁場(観測ブイ)の表層水温の推移

[今後の留意点]

- 墨ノリの原因は、細菌による病気、または生理障害の可能性がありますが、現在、発生している墨ノリ症は、調査の結果、生理障害と考えられました。
- 生理障害の原因は、カモ対策で網を沈下させていることによる日照不足、または、ノリ芽の急激な生長によるものと考えられます。表層張りにして、ノリに十分な日光を当てることで改善する可能性があります。
- 沖合水の波及は断続的になりますので、色調が低下した場合は、回復を待つて摘採してください。
- 全国の生産状況から堅調な単価が期待されます。粘り強く養殖を継続するように計画的な網管理を行って下さい。